



佐世保記者クラブ各位

令和5年4月12日
佐世保海上保安部

問い合わせ先
佐世保海上保安部 交通課
交通課長 西山 巖
Tel : 0956-31-5512 (FAX 兼用)

佐世保海上保安部管内における船舶海難多発!! ～小型船舶の海難が昨年同時期比3倍～

佐世保海上保安部管内では、本年に入ってから3月31日(金)までの間で船舶海難が13隻と多発しているため、小型船舶への安全指導を強力に推進していくこととしています。また、令和5年4月29日(土)～5月7日(日)までの間、海上保安庁では、全国一斉に春季大型連休安全推進活動を展開し、プレジャーボート運航者及び釣り人への安全指導を集中して行うこととしており、佐世保海上保安部でも活動を展開します。

1. 海難の発生状況(令和5年1月～3月)

佐世保海上保安部管内では、令和5年に入り、1月から船舶海難が立て続けに発生し、3月31日(金)時点で13隻(昨年同時期比7隻増)と例年に無いハイペースで推移しており、すでに昨年1年間の海難隻数の半数を超える異常事態となっています。

海難隻数13隻のうち、小型船舶の海難が10隻(プレジャーボート4隻、漁船5隻、遊漁船1隻)、作業船2隻、貨物船1隻となっており、小型船舶10隻の海難種別をみると、船舶同士の衝突4隻、運航不能6隻(燃料欠乏1隻、バッテリー過放電1隻、クラッチ故障1隻、無人漂流1隻、操船者の病気による漂流1隻、操船技能不足1隻)です。

※ 海難の発生状況は、添付の参考資料をご確認下さい。

2. 主な事故事例

衝突事故1

～入港中の漁船に遊漁船が衝突～



令和5年1月16日(月)の日中、遊漁船S丸船長は、釣り客4人を乗せて釣り場を移動中、西海市平島沖付近で眠りに陥り、平島漁港に入港中の漁船D丸の左舷に衝突したものの、幸いにも怪我人はありませんでした。

※ S丸船長の居眠り運航が原因ですが、D丸船長もS丸が向かってくるのに気付いており、早めの避航動作で防げた海難です。

衝突事故2

～操業中の漁船にプレジャーボートが衝突～



令和5年2月12日(日)の日中、プレジャーボートK丸船長は、佐世保市片島沖での魚釣りを終えて帰港していたところ、自身の携帯電話を船上床に落とし、携帯電話を拾っている最中に、操業中の1人乗り漁船S丸に衝突(船体上を滑走)し、S丸に乗船していた船長は海に投げ出され、大けがを負ったもの。

※ 両船とも見張り不十分が原因です。両船が適切な見張り及び適切な避航動作を行っていれば防げた海難です。

運航不能事故

～燃料が欠乏し、航行不能～



令和5年2月4日(土)の日中、プレジャーボートF丸船長は、諫早市から佐世保市に向けて船舶にて移動中に燃料が欠乏して航行不能に陥ったもの。F丸船長は、燃料計が故障しているにもかかわらず、出港前に残燃料の詳細確認を行っていなかったもの。

※ 出港前に、航海計画に見合った残燃料の確認及び燃料補給を行っていれば防げた海難です。

3. 佐世保海上保安部の対応

小型船舶（プレジャーボート、漁船、遊漁船）の船長に対し、

- ① 衝突事故を防止するための常時見張りの徹底
- ② 運航不能事故を防止するための発航前点検の実施及び定期的な整備業者によるメンテナンス

を重点的に呼びかけることとし、訪船指導及び巡視船艇のパトロールにあわせた安全指導を展開していきます。

4. 春季大型連休安全推進活動

気候が温暖で余暇活動に適した時期となり、海に接するレジャーが活発化することから、海上保安庁では、令和5年4月29日（土）～5月7日（日）までの間、全国一斉に春季大型連休安全推進活動を展開します。

本活動の重点項目は、

- ① プレジャーボートの海難防止
- ② 釣り人の事故防止

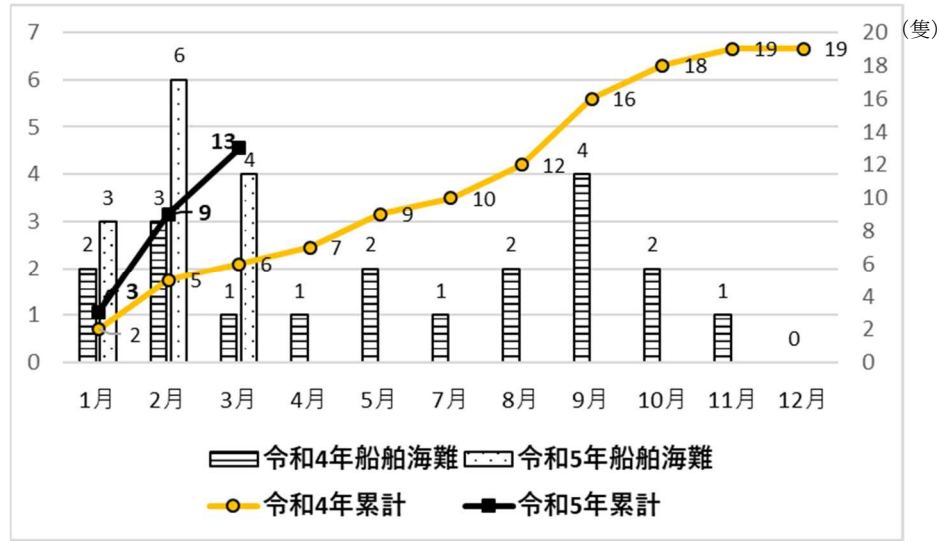
となっています。

佐世保海上保安部では、期間前から期間終了まで、以下のような周知・啓発活動を行い、海難防止思想の普及・高揚を図ることとしています。

- ① マリーナ、釣具店訪問による啓発活動
- ② 釣り人への現場での啓発活動
- ③ 巡視船艇によるプレジャーボートへの現場での安全指導
- ④ 地元 FM ラジオ（はっぴい!FM）出演による周知啓発活動（4月19日）
- ⑤ P.W.RESCUE（NPO 法人長崎県水難救済会所属 水上オートバイ隊）との大村湾内の合同パトロール（4月29日予定）

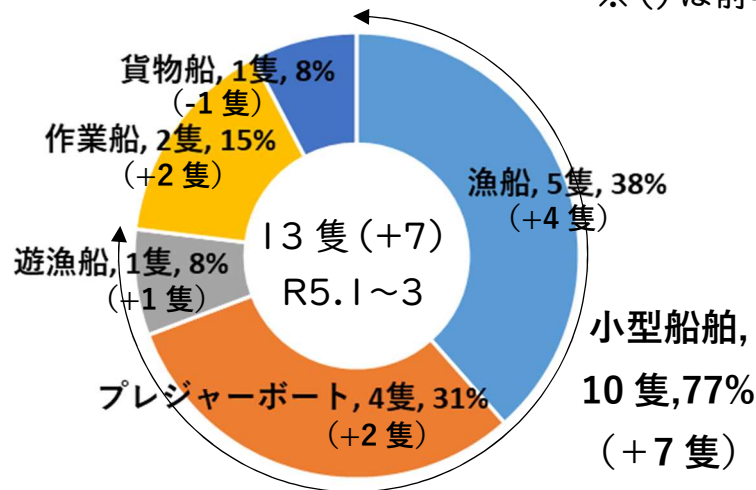
<佐世保海上保安部管内海難発生状況>

■船舶海難隻数(令和4年1月1日~令和5年3月31日)



■船舶海難 船舶種類別(令和5年1月1日~令和5年3月31日)

※()は前年同期間比



■小型船舶 海難種類別(令和5年1月1日~令和5年3月31日)

